

ごのへ 議会だより

Gonoh Assembly News

議会広報
令和3年4月
第39号

第12回定例会(令和3年3月定例会)

令和3年度当初予算 …… 2	予算特別委員会 …… 4	第10回臨時会・第11回臨時会 …… 6	第12回定例会 …… 7
一般質問(4人) …… 10	議員インターネットビュー …… 14	議員活動報告・編集後記 …… 16	

消防団による野焼きのパトロール風景



関連記事 編集後記(16P)

空気が乾燥する季節ですので、火の取扱いは注意しましょう。
消防団員の皆さん、活動ご苦労様です。

令和3年度当初予算を可決

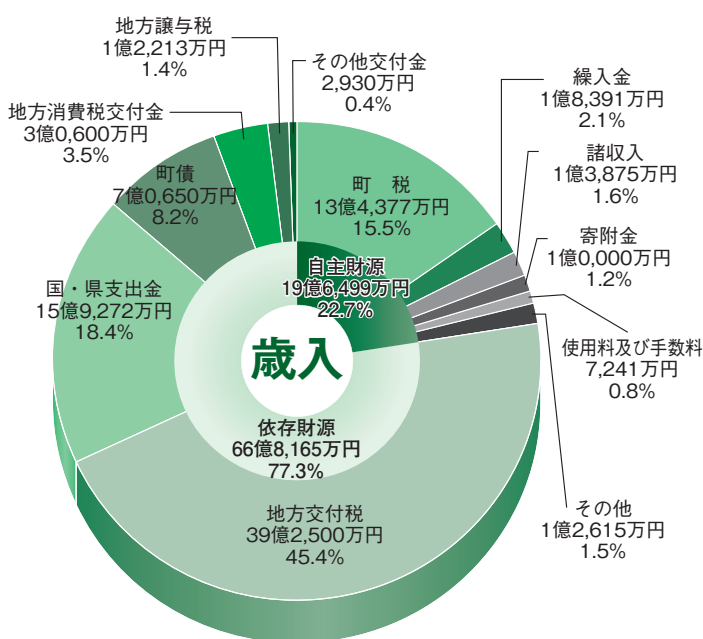
< 財源構成 >

自主財源
22.7%

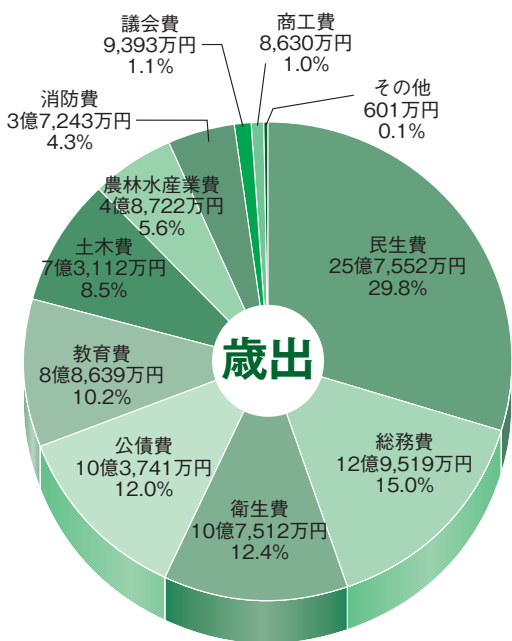
依存財源
77.3%

一般会計 86億4,664万円 前年度比0.4% 3,551万円 増額

【一般会計】



前年度比			
歳入 (単位: 万円、%)			
区分	予算額	増減額	増減率
町税	13億4,377	△1,673	△1.2
繰入金	1億8,391	5,746	45.4
諸収入	1億3,875	△1億7,575	△55.9
寄附金	1億0,000	2,000	25.0
使用料及び手数料	7,241	△208	△2.8
その他	1億2,615	△2,323	△15.6
小計(自主財源)	19億6,499	△1億4,033	△6.7
地方交付税	39億2,500	△8,500	△2.1
国・県支出金	15億9,272	1億8,146	12.9
町債	7億0,650	8,150	13.0
地方消費税交付金	3億0,600	0	0.0
地方譲与税	1億2,213	△82	△0.7
その他交付金	2,930	△130	△4.2
小計(依存財源)	66億8,165	1億7,584	2.7
合計	86億4,664	3,551	0.4



歳出 (単位: 万円、%)			
区分	予算額	増減額	増減率
民生費	25億7,552	△7,114	△2.7
総務費	12億9,519	3,768	3.0
衛生費	10億7,512	7,701	7.7
公債費	10億3,741	787	0.8
教育費	8億8,639	△5,652	△6.0
土木費	7億3,112	7,091	10.7
農林水産業費	4億8,722	△3,676	△7.0
消防費	3億7,243	731	2.0
議会費	9,393	△346	△3.6
商工費	8,630	261	3.1
その他	601	0	0.0
合計	86億4,664	3,551	0.4

【特別会計】

区 分	予 算 額	前 年 度 比	
		増 減 額	増減率
後期高齢者医療特別会計	4億5,584万円	△314万円	△0.7%
国民健康保険特別会計	21億6,893万円	△2,765万円	△1.3%
介護保険特別会計	23億4,942万円	△5,365万円	△2.2%
下水道事業特別会計	3億8,390万円	7,315万円	23.5%
農業集落排水処理施設事業特別会計	1億4,136万円	1,882万円	15.4%
浄化槽事業特別会計	4,103万円	新事業	新事業
簡易水道事業特別会計	8,592万円	△1,774万円	△17.1%
住宅用地造成事業等特別会計	2,651万円	2,252万円	564.5%
ケーブルテレビ事業特別会計	2,787万円	△203万円	△6.8%

【病院事業会計】

区 分	予 算 額	前 年 度 比	
		増 減 額	増減率
収益的収入	19億3,384万円	△3億3,572万円	△14.8%
収益的支出	27億2,969万円	△1億6,690万円	△5.8%
資本的収入	3億9,638万円	1億0,205万円	34.7%
資本的支出	6億8,638万円	1億4,515万円	26.8%

令和3年度 主な新規事業

総務費

● 庶務管理及び人事評価システム使用料	106万円	● メンタルヘルスケア業務委託料	65万円
● 工作物撤去工事(石沢加工場等)	2,111万円	● 上市川地区産直施設整備事業	34万円
● (仮称)旧南部鉄道DC351里帰り事業	1,289万円	● 自主放送番組自動送出装置交換工事	1,560万円

衛生費

● 新型コロナウイルス対策事業	1億0,446万円	● 予防接種事業 (高校生までのインフルエンザ無料分)	1,228万円
-----------------	-----------	--------------------------------	---------

農林水産業費

● 意向調査対象森林抽出業務委託料	160万円	● 森林業務車購入(現地確認用)	206万円
-------------------	-------	------------------	-------

土木費

● 立地適正化計画策定業務委託料	561万円	● 消防ポンプ自動車購入(倉石3分団)	2,299万円
------------------	-------	---------------------	---------

消防費

教育費

● GIGAスクール構想対応事業	1,123万円	● スポーツクラブ育成事業補助金	400万円
------------------	---------	------------------	-------

浄化槽事業特別会計

● 浄化槽整備関連	2,716万円	● ひばり野地区宅地造成関連	2,137万円
-----------	---------	----------------	---------

住宅用地造成事業等特別会計

令和3年度当初予算を審議

議員全員で構成する予算特別委員会(委員長：豊田孝夫議員、副委員長：和田智也議員)を設置し、令和3年度の一般会計予算、各特別会計予算及び病院事業会計予算について審議しました。

※委員会では議員のことを「委員」と呼びます。



議事進行する 豊田 孝夫 委員長

予算に対する 主な質疑

一般会計歳入

地方交付税

問 大沢義之委員

地方交付税は、当町にとつて大変大事な財源である。昨年度より8500万円減っているのはなぜか。

答 川村財政課長

地方交付税の算定根拠の多くは人口により算出されている。令和3年度交付分から昨年10月実施の国勢調査の人口を用いて算出されるため、人口減が減額の要因になると見込んでいる。

一般会計歳出

〔総務費〕

(仮称)

旧南部鉄道DC351 里帰り事業費

問 中川原賢治委員

町民の中には財政が厳しい時に、本当に必要な事業なのかという疑問の声もある。

この事業を進めるためには、町民の理解を得る努力が必要だと思うが。

答 若宮町長

プロジェクトメンバーに旧南部鉄道のOBなど一般の方にも入ってもらい、盛り上げる方法を考えていきながら、町民の皆様を理解していただけるよう努めていく。

問 沢田良一委員

機関車を移設した後、保管するための維持費がかかるのでは。

答 若宮町長

当然維持費はかかるため、例えば、クラウドファンディング(※1)などを活用し、情報発信も含め

て全国の皆様から応援していただきながら、財源を確保できないか検討中である。

用語解説

※1クラウドファンディング 群衆を意味する「クラウド」と資金調達を意味する「ファンディング」からできた造語。インターネットを利用して事業に賛同した不特定多数の人から小口のお金を集めるのが特徴となっている。

近年、産業振興を中心とした地域活性化のための活動資金の調達手法として、地方自治体での利用の拡大が進んでいる。

上市川地区産直施設整備事業費

問 川村浩昭委員

整備する場所の目安はあるのか。

答 手倉森総合政策課長

令和2年度は、整備の参考とするため、県道20号周辺の交通量調査を行った。場所については、まだ決定していない。

〔民生費〕

手話普及活動事業費補助金

問 尾形裕之委員

この補助金の内容は。

答 高嶋福祉課長

令和2年度に手話奉仕員養成研修のための予算を計上していたが、新型コロナウイルス感染症等の影響により実施できなかった。

令和3年度も実施できる見込みがないため、地元で活動している手話サークルに補助金を交付し、手話の普及を図りたい。

問 尾形裕之委員

手話言語条例はいつ定めるのか。

答 若宮町長

町内に、ある程度手話ができる人を増やしていったら、手話に親しむ環境が整ってから条例を制定するのがベストであると考えている。

〔衛生費〕

自殺対策緊急強化事業費

問 鈴木隆也委員

コロナ禍において自殺者が増加しているという報道を目にする。自殺対策は、町民の皆様の生命を守る重要な事業だと思いが、町としての対策は。

答 赤坂健康増進課長

ゲートキーパー養成講座やうつ病スクリーニングの実施を予定している。

また、コロナ禍で自粛生活をされている方も多いと思うので、家庭訪問等で直接話を伺うなどの対策を行っていく。



旧南部鉄道DC351ディーゼル機関車

**公衆浴場施設整備事業
費補助金**

問 川村浩昭委員

この補助金について説明願いたい。

答 赤坂健康増進課長

町内の公衆浴場に対しての補助金で、施設設備の修繕を補助するものである。

【農林水産業費】

鳥獣被害防止事業費

問 鈴木隆也委員

現在、五戸町で二ホンジカやイノシシの目撃情報があるが、捕獲対策はどうなっているか。

答 中村農林課長

令和3年度は、ハクピシンやアライグマ専用の小型用箱罠捕獲器の購入費を予算計上している。令和2年度に購入した箱罠と併せて活用しながら、猟友会等を通じて被害を少なくしていきたい。

【土木費】

町道道路改良工事費

問 沢田良一委員

地域によっては、町道が非常に傷んでいる箇所がある。町道の道路改良工事の計画はあるか。

答 高谷建設課長

町で定めた過疎計画に基づいて計画的に改良していきたい。

問 沢田良一委員

町道の状態を調査する考えはないか。

答 高谷建設課長

年に2回程度、町の道路事情を調査し協議しながら進めていきたい。

【教育費】

**GIGAスクール
サポート業務委託料**

問 尾形裕之委員

GIGAスクール構想（※2）による、ICT（情報通信技術）を活用した遠隔での学習を可能とするためには、インターネット環境が必要となるが、

整備されていない世帯への対応は。

答 澤田教育長

町内小・中学校の児童・生徒がいる世帯で、インターネット環境のない世帯は、現時点で全体の約10%程度となっている。令和3年3月末までに、モバイルルーターを45台配備することが決定しており、1年間程度かけて環境を整備していきたい。

用語解説

※2 GIGAスクール構想

児童・生徒に1人1台の端末整備と学校施設に高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備し、特別な支援を必要とするなどの多様な子どもたちを誰一人取り残すことなく公正に個別最適化された教育を実現させ、社会の高度な変化に対応し、グローバルな土台で生きていける人材育成を行うための新たな教育環境を構築する構想のこと。

このへ郷土館指定管理料

問 尾形裕之委員

将来、倉石地区も含めた町史を編さんすることを考慮し、その町史を編さんする有識者及び学芸員を、このへ郷土館を指定管理しているこのへ郷土館管理委員会のメンバーに入れるべきであると考えている。

答 志村教育課長

このへ郷土館管理委員会のあり方を含め協議し、教育委員会としても、外部の人材を紹介するなどのサポートをしていきたい。

**学校教育検討委員
報償費**

問 鈴木隆也委員

この予算は、川内地区にある、切谷内小学校と上市川小学校の統合について検討するために立ち上げられる検討委員会委員への報償費とのことである。

令和2年9月議会で、

私が川内地区2つの小学校の統合について一般質問させていただいた後、保護者や関係者にアンケートを実施したとのことだが、今後統合についてどのように進めるのか。

答 志村教育課長

アンケートの結果は、重要な参考資料として、今後統合するかどうかを考える第一歩として、

検討委員会の中で、少子化や校舎の老朽化などの課題を含めて、どのような形が川内地区の学校教育の環境として適切なのかを考えていただく予定である。

病院事業会計

問 鈴木隆也委員

コロナ禍の影響からか、近年まれにみる厳しい状況の病院事業運営だと思ふ。この状態のままだと、一般会計から繰り出す金額が増えていき、本来五戸町がやりたい事業を取りやめなければならぬなど、色々なところに波及していくと考える。

将来どのような展望のもとで運営していくのか。

答 若宮町長

令和2年度は、看護師が不足していることや、新型コロナウイルス感染症が出回ったことによる受診控えで患者数が減少したことなどが事業収益に影響を与えたと考えている。

今後については、将来のことを見据え、ある程度固定費を少しずつ減少させていきながら、どの程度の規模の病院ならば五戸町にふさわしいのか、病院の構造改革会議の中で考えていきたい。

第10回 令和3年1月 臨時会

1月15日に1日間の会期で臨時会が開催されました。

議決件数 1件			
原案可決	同意	承認	認定
1件	0件	0件	0件

町長提出案件

補正予算 1件

①一般会計補正予算(第9号)

・補正額(増額)
1億5997万9千円
・予算総額(補正後)
115億8980万5千円

【主な内容】

・公共交通ICカード導入事業費補助金 681万6千円
・公民館エアコン設置工事費 2817万9千円
・公民館トイレ洋式化改修工事費 1936万円
・五戸ドーム改修工事費 8000万円

審議の結果

全員賛成で可決



第11回 令和3年2月 臨時会

2月24日に1日間の会期で臨時会が開催されました。

議決件数 7件			
原案可決	同意	承認	認定
5件	1件	1件	0件

町長提出案件

専決処分の承認 1件

①一般会計補正予算(第10号)

・補正額(増額)
8300万円
・予算総額(補正後)
116億7280万5千円

【主な内容】

・除雪作業業務委託料 8000万円

審議の結果

全員賛成で承認

協議 2件

①青森県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び青森県市町村総合事務組合の共同処理する事務の変更並びに青森県市町村総合事務組合規約の変更について

②青森県市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体の数の減少及び青森県市町村職員退職手当組合規約の変更について

更について

【内容】

①と②は、十和田地区環境整備事務組合が令和3年3月31日をもって解散することに伴うもの

審議の結果

全員賛成で可決

①五戸町屋内トレーニン
グセンター五戸ドーム
改修工事
(株)大西組 7997万円

審議の結果

①このへ郷土館の指定管理者となる団体と期間

審議の結果

全員賛成で可決

指定管理者の指定 1件

○団体の名称

○このへ郷土館管理委員会

○指定の期間
令和3年4月1日から
令和6年3月31日まで
の3年間

審議の結果

全員賛成で可決

補正予算 1件

①一般会計補正予算(第11号)

・補正額(増額)
3231万6千円
・予算総額(補正後)
117億512万1千円

【主な内容】

・プレミアム商品券発行事業補助金 2366万4千円

審議の結果

全員賛成で可決

人事 1件

①監査委員の選任

◎前田 一馬氏(67歳)
またま さま
字蛸川村(再任)



審議の結果

全員賛成で同意

第12回 令和3年3月 定例会

3月10日から18日までの9日間の会期で定例会が開催されました。

議決件数 34件			
原案可決	同意	承認	認定
33 件	1 件	0 件	0 件

町長提出案件

報告 1件

1 損害賠償請求に関する和解及び損害賠償の額の決定

【内容】

・町道下長下夕線で発生した道路上の側溝蓋の劣化による車両物損事故の損害賠償請求に関するもの
(報告は採決しません)

条例の制定 7件

1 五戸町議会議員及び五戸町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例

【内容】

・公職選挙法の一部改正に伴い、町議会議員選挙及び町長選挙における選挙運動用の自動車借上げ、ビラの作成、ポスター作成等の費用を選挙公営の対象とすることで立候補者に係る環境改善を図り、併せて町議会議員選挙における供託金制度を導

入するもの

2 五戸町職員のハラスメントの防止等に関する条例

【内容】

・令和2年6月に労働施策総合推進法の一部を改正する法律が施行されたことに伴い、職場等におけるパワーハラスメント対策が義務化されたことにより、ハラスメントの防止及び排除を目的とするもの

3 五戸町地域福祉計画策定委員会条例

【内容】

・社会福祉法に基づき、地域福祉計画の策定を目的とした五戸町地域福祉計画策定委員会を設置するもの

4 五戸町地域自立支援協議会設置条例

【内容】

・地方自治法に基づき、障害福祉サービスの提供体制の確保等を目的とした五戸町地域自立支援協議会を設置するもの

審議の結果
全員賛成で可決

5 五戸町介護保険事業計画策定委員会条例

【内容】

・介護保険法及び老人福祉法に基づき、介護保険事業計画等の策定を目的とした五戸町介護保険事業計画策定委員会を設置するもの

6 五戸町地域公共交通会議条例

【内容】

・道路運送法に基づき、地域の実情に即した輸送サービスの実現に必要な事項を協議する五戸町地域公共交通会議を設置するもの

7 五戸町公共浄化槽の設置及び管理に関する条例

【内容】

・令和3年度より、公共下水道及び農業集落排水施設整備区域外の地域において、町が主体となって浄化槽の整備及び管理を行う公共浄化槽事業に取り組むもの

審議の結果
全員賛成で可決

条例の一部改正 10件

【内容】

1 五戸町課設置条例の一部改正
課の分掌事務の見直し等に伴い、関連する条例について所要の改正をするもの

2 五戸町特別職の職員及び非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正
新たに制定された各委員等々の設置条例に伴い、関係する役職等について所要の改正をするもの

3 五戸町手数料徴収条例の一部改正
新型インフルエンザ等対策特別措置法等の一部改正に伴い、傷病手当金の支給について、所要の改正を行うもの

4 五戸町家庭の保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正
「家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準の運用上の取扱いについて」の一部改正に伴い、所要の改正をするもの

5 五戸町簡易水道事業給水条例の一部改正
水道法の改正により、給水装置工事事業者の指定について有効期限が定められたことに伴い、所要の改正を行うもの

6 五戸町国民健康保険条例の一部改正
新型インフルエンザ等対策特別措置法等の一部改正に伴い、傷病手当金の支給について、所要の改正を行うもの

7 五戸町国民健康保険条例の一部改正
新型インフルエンザ等対策特別措置法等の一部改正に伴い、傷病手当金の支給について、所要の改正を行うもの

部改正に伴い、国民健康保険税の減免について、所要の改正を行うもの

令和2年度補正予算 4件
① 一般会計補正予算(第12号)

・補正額(減額)

△2億406万8千円

・予算総額(補正後)

115億105万3千円

【主な内容】

・町バス運行業務委託料

△1400万円

・五戸町自治会施設整備費補助金

△414万3千円

・敬老会事業業務委託料

△362万2千円

・介護保険特別会計繰出金

△1309万3千円

・風しん予防接種業務委託料

△500万円

・乳幼児医療費給付費

△1000万円

・農業委員会委員報酬

290万7千円

・立竹木等移転補償費

△643万円

・五戸まつり事業費補助金

△380万円

・ごのへ夏まつり事業費補助金

△400万円

・暮らしの道路基金積立金

1000万円

・八戸地域広域市町村圏事務組合負担金

△1422万2千円

・奨学資金貸付金

△708万円

・中学校体育大会等出場交付金

△311万5千円

など、おおむね各事業費の精査によるもの

② 国民健康保険特別会計補正予算(第4号)

・補正額(減額)

△535万8千円

・予算総額(補正後)

21億9340万4千円

【主な内容】

・出産育児一時金

△210万円

③ 介護保険特別会計補正予算(第3号)

・補正額(減額)

△4273万5千円

・予算総額(補正後)

24億2625万5千円

【主な内容】

・居宅介護サービス給付費

△1000万円

・地域密着型介護サービス給付費

△2696万6千円

ス給付費

△2696万6千円

④ 病院事業会計補正予算(第5号)

○収益的収入

98万2千円減の21億1246万1千円

【主な内容】

・国保特別調整交付金及び新人看護職員研修事業費補助金等の減額によるもの

○収益的支出

4592万2千円減の27億3128万8千円

【主な内容】

・応援医師謝金及び会計年度任用職員報酬等の減額によるもの

○資本的収入

2136万2千円減の3億8545万9千円

【主な内容】

・企業債及び補助金の減額によるもの

○資本的支出

2660万3千円減の5億9321万5千円

【主な内容】

・病院備品費及び病院施設整備費の減額によるもの

審議の結果
全員賛成で可決

令和3年度当初予算 11件

① 一般会計予算

② 後期高齢者医療特別会計予算

③ 国民健康保険特別会計予算

④ 介護保険特別会計予算

⑤ 下水道事業特別会計予算

⑥ 農業集落排水処理施設事業特別会計予算

⑦ 浄化槽事業特別会計

⑧ 簡易水道事業特別会計

⑨ 住宅用地造成事業等特別会計予算

⑩ ケーブルテレビ事業特別会計予算

⑪ 病院事業会計予算

(詳細は2～3P、審議内容は4～5P)

審議の結果

全員賛成で可決

町長追加提出案件

人事 1件

① 人権擁護委員の候補者の推薦

◎佐々木ノリ子氏(73歳)

大字上市川字家ノ後

(再任)



審議の結果

全員賛成で同意



請願 1件

1 倉石温泉継続に関わる請願書

・民生常任委員会へ付託

常任委員会の審査結果

不採択

本会議での請願に対する討論

【賛成討論】



柏田 匡智 議員

倉石温泉は、健康福祉維持を目的とし、多くの世代が利用することで、地域住民の交流の場となっている。

しかし、倉石温泉運営事業検討委員会が、事業廃止もやむを得ないとい

【反対討論】



尾形 裕之 議員

う検討結果を町長へ報告したことにより、倉石温泉がこのままでは無くなるのではないかと、という地域住民の不安の声が聞かれていた。
検討委員会の報告を受けて開かれた、倉石地区連合自治会の会議に私も招かれ、存続のための方策が話し合われた。

その中で、倉石温泉継続のためには、入浴料を上げることも妥当であることや、利用者を増やすために、併設している交流館で定期イベントを開催する、周囲の環境整備に協力するといった、多くの前向きな意見が出された。

このような地域住民の想いを町に届けたいということから、今回の請願及び署名活動に至っている。

以上のことから、地域住民の皆様の想いを大切にし、本請願書に賛成する。

また、以下の法律等に照らし合わせても非常に

危ういのではないかと思う。

・補助金等に係る予算の執行の適正化に関する法律（昭和30年法律第179号）

・公衆浴場の確保のための特別措置に関する法律（昭和56年法律第68号）

・民間と競合する公的施設の改革について（平成12年5月26日閣議決定）

以上の点から、倉石地区の皆様への想いは理解できるとは賛成することはできない。

本会議での審議結果

賛成 4

柏田 匡智 議員

豊田 孝夫 議員

川村 浩昭 議員

三浦 俊哉 議員

反対 10

沢田 良一 議員

和田 智也 議員

川崎 七洋 議員

鈴木 隆也 議員

大久保 和夫 議員

大沢 義之 議員

尾形 裕之 議員

松山 泰治 議員

古田 陸夫 議員

中川原 賢治 議員

よって、賛成議員の起立少数のため否決

陳情 1件

1 「最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情書
・総務常任委員会へ付託

常任委員会の審査結果

継続審査

議会提出案件 1件

規則の一部改正 1件

1 五戸町議会会議規則の一部改正

【内容】

・議員活動と家庭生活との両立支援策をはじめ、男女の議員が活動しやすい環境整備の一環として、出産、育児、介護など議員として活動するに当たっての諸要因に配慮するため、育児、介護など議会への欠席事由を整備するとともに、出産については母性保護の観点から出産に係る産前・産後の欠席期間を規定するもの

・請願者の利便性の向上を図るため、議会への請願手続について、請願者に一律に求めている押印の義務付けを見直し、署名又は記名押印に改めるもの

審議の結果

全員賛成で可決



3月定例会では4人の議員が一般質問を行いました。一般質問は、一般行政、教育、選挙、農地行政など町が行う行財政全般について質問できます。



和田 智也 議員

◆若宮町長の公約の進捗状況及び今後の見通しは

町長 準備委員会やプロジェクトチームを立ち上げ進めていく

質問①

若宮町長は、公約実現のためにコロナ禍等厳しい社会状況の中、町の活性化・発展のために精力的に活動されている。

そこで、5つの大公約、36項目の小公約のうち3項目について、現時点での進捗状況及び今後の見通しについて伺う。

上市川地区産直施設整備の今後の見通しは。

答 若宮町長

準備委員会を立ち上げ、用地の選定、販売施設、駐車場等について基本設計に向けた準備を行う。

今後の高齢化社会、デジタル社会に対応できる、持続可能な施設の推進を目指すとともに、10年、20年先の未来を見据えた産直施設のあり方を提案し、施設を利用するすべての人たちの暮らしや心を豊かにできる産直施設を検討していくこととしている。

質問②

ひばり野公園のリノベーションの目的は。

答 若宮町長

現代スポーツやレクリエーションへのニーズの変化に対応することが求められていることから、多くの町民が親しみを持って活動できる多様なイベント広場としてのリノベーションや、子どもから大人まで楽しむことができる公園づくりを進める。

令和2年度に庁内の職員によるプロジェクトチームを立ち上げ、ひばり野公園のリノベーションに関する調査研究を行い、基本構想・基本設計を策定中である。



ひばり野公園

質問③

(仮称)町タク事業の調査の進捗状況は。

答 若宮町長

これまでの調査研究の進捗状況は、各地区の高齢者数や高齢者世帯数の把握に加え、他の自治体で取り組むタクシーを活用した移動支援の調査を行っている。

他の自治体の取り組み事例としては、予約型のデマンドタクシーやタクシー料金の割引チケットの交付など、地域の実情に合わせた様々な取り組みが行われている。

現在、庁内の職員によるプロジェクトチームにおいて、五戸町の状況に合う町タク事業の検討を行うっており、ある程度の制度設計がなされた段階で、事業効果を把握するため、まずは期間限定の実証実験を実施したいと考えている。

◆簡易水道施設の耐震化や更新計画は

町長 工事の内容及び財源等を精査し、実施に向けて検討していく

質問①

簡易水道施設の箇所数は。

答 若宮町長

当町での簡易水道事業は9地区において、浄水場が11施設、配水場が12施設、配水管は55・7キロメートルに渡り管理運営している。

質問②

耐震化更新における概算事業費及び更新期間は。

答 若宮町長

概算事業費については、昭和56年度以前に建設された浄水場施設の改修工事費で1億1910万円、配水管の耐震化工事費として45億4200万円を見込んでいる。更新期間は、浄水場施設の改修工事は3年程度、配水管の耐震化工事は15年程度の期間を要すると考えている。

質問③

耐震化更新施設箇所及び未整備施設の今後の事業計画は。

答 若宮町長

現在のところ、耐震化工事を実施済の施設及び配水管はない。今後、工事の内容及び財源等を精査した上で、改修工事の実施に向けて検討していきたい。

配水管の耐震化工事については、全ての管を更新するとなると、膨大な費用と期間が必要となるため、優先順位をつけて更新を進めるよう検討していきたい。

一般質問

◆新型コロナウイルスワクチン接種対策は

町長 ワクチン接種の事前訓練を4月上旬に実施し万全を期す



とよた たかお
豊田 孝夫 議員

質問①

新型コロナウイルスワクチン接種体制について具体的な人員配置等はどうなっているか。また、事前に訓練を実施する予定はあるか。

答 若宮町長

町では、本部長を町長として、対策チームリーダーに健康増進課長、サブリーダーに健康増進課長補佐、グループリーダーに課長補佐級全員を充てて編成している。

また、事前訓練は4月上旬を目途に五戸総合病院で実施する。

質問②

五戸総合病院の他に、町内外の医療機関等でも接種はできるか。また、その際の手続はどのようなものか。

答 若宮町長

五戸総合病院の他に、町内の田中医院、松尾医院、山崎内科医院の3つ

の医療機関で接種可能で、事前予約が必要となる。

接種場所は住所所在地が原則だが、長期入院や里帰り出産などの場合は、申請すれば例外的に住所地以外での接種が認められる。

質問③

接種ワクチンのメーカーはどこか。また、ワクチンの受け入れ体制は。

答 若宮町長

ワクチンのメーカーはファイザー株式会社で、マイナス75℃前後で保管しなければならぬため、国から超低温冷凍庫が無償で配付され、五戸総合病院に配置する予定である。

質問④

ワクチンの接種時期はいつを予定しているのか。

答 赤坂健康増進課長

令和3年4月26日の週に1箱配送される予定で

あり、それ以後の実施に向けて万全を期す。

質問⑤

ワクチン接種の完了時期はいつに設定しているか。また、接種を希望しない場合の対応は。

答 若宮町長

接種の完了時期は、令和4年2月28日までと設定している。

ワクチン接種は努力義務であるが、できるだけ受けていただきたい。

質問⑥

ワクチン接種時に副反応を発症する場合もあるとのことだが、どのような症状か。

答 若宮町長

主な副反応は、頭痛、関節や筋肉及び注射した部分の痛み、疲労、寒気、発熱等で、まれにアナフィラキシーショックの症状が出る場合もある。

◆町の活性化、にぎわいのあるまちづくりの施策は

町長 「おんこちゃん」を活用し

情報発信に役立てる

質問①

かつて「まちの駅構想」を打ち出していたが、同様の計画はあるか。

答 若宮町長

「まちの駅構想」を当分の間凍結する考えは今も変わっていないが、木村秀政ホルルの改修を最優先に考えている。

質問②

町のキャラクター「おんこちゃん」を活用する町としての具体策はあるか。

答 若宮町長

公用車の側面に「おんこちゃんマグネットシート」を貼り付けたり、町内の新小学1年生に「五戸のおんこちゃん絵本」を配付したりして活用している。

また、広報ごのへまちに「おんこちゃん4コマ漫画」を掲載するため、東京ハイジさんに製作を依頼することとしている。

質問③

ふるさと納税の返礼品に「おんこちゃん」シールを貼付する考えはないか。

答 若宮町長

既に申請許可されてシールを製作し、ふるさと納税返礼品に使用している事例があり、町のイメージアップに貢献していると考えている。



©東京ハイジ／五戸町



かわさき しちひろ
川崎 七洋 議員

◆令和3年の五戸まつりの開催は

町長 開催を前提に前向きに準備を進め、五戸まつり実行委員会の判断を待ちたい

質問②

実行委員会のメンバーに、コロナ対策の有識者がいない。その中で開催可否を決めていただくのは、委員の皆様が重すぎるのではないかと
思うが、どのようにご判断していただく予定か。

答 若宮町長

青森県が定める新型コロナウイルス感染症対策ガイドラインがあり、実行委員会には既に情報共有しているため、それに準拠した形で判断していただけるものと考えている。

質問③

令和3年度の五戸まつりに関する予算は、令和2年度の予算と同額になっている。

◆旧南部鉄道車両DC351設置・活用の費用とその計画は

町長 まず移設させることに全力をそそぐ

質問①

3月議会は、令和3年度の予算を決定する議会であり、これまで計画中であつた旧南部鉄道の車両DC351里帰り事業に係る計画も詳細化されたものと推察する。

設置場所はこのへ郷土館とのことだが、移設、設置、運用に係る予算はいくらと見込んでいるか。

答 若宮町長

京都府与謝野町に保管されている当該車両の移送については、移送費用がなるべくかからない時期に運搬する計画としており、運搬業務委託料に800万円、展示設備設置業務委託料に200万円、搬入記録映像作成業務委託料に289万円、以上を合計して1289万円を見込んでいます。

質問②

保管状態を維持するために、設置場所には屋根をかける必要があることがわかってはいるが、その費用やメンテナンスに係る費用は予算化しないのか。後になってから次々と費用がかさんでいくのではと懸念している。

答 若宮町長

当町で実際に運用され、幾多の震災を乗り越え、幸運にも解体の危機を免れて現存している当該車両が五戸町に戻ってくるということだけで大変価値がある。今回の案件は今しか受けることができないので、令和3年度はまず移送して設置することを目指している。その後は、町民の皆様の目で実物を見ていただいでから計画していきたい。

質問③

設置後はどのように活用していく予定か。

答 若宮町長

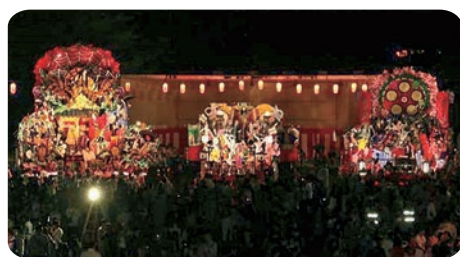
住民参加型の再塗装イベントや、近隣町村にある鉄道資産との共同イベントなどで観光客の誘客ができると考えている。

質問④

観光資源として期待するのであれば中心市街地にある歴史みらいパークに設置するべきではないかと考える。

答 若宮町長

このへ郷土館に設置すれば、教育資産として活用されることがメインになると考えられる。観光と教育のどちらに重点を置くのか、ちぐはぐな印象を受けるが、今後どう進めていくのか。



五戸まつり

一般質問



鈴木 隆也 議員

◆ボイラー故障のため休業中である 倉石温泉の今後の運営見通しは

町長 次世代へつなぐ維持可能な
まちづくりを念頭に慎重に
判断する

むを得ないのではないかと
いう結論に達した。

なお、事業廃止した場合、
入浴割引券の発行や送迎バスの運行など、現在の利用者等に対しフォローが必要ではないか。」
というものであった。

質問①
倉石温泉は、利用者数の減少や源泉くみ上げ量の減少、源泉温度の低下、それに伴う燃料費の増加などの問題を抱えている。

答 若宮町長

本委員会から町長へ提出された報告の内容は、「倉石温泉の経営状況、施設・設備の現状や収支見通し、また、令和2年12月14日に発生したボイラーの故障の状況等を踏まえると、事業廃止もや

本委員会は、施設の維持や今後の経営・運営方式など、倉石地区の問題にとどまらず、人口減少や超高齢化社会を見据え、次世代へつなげるまちづくりをしなければならぬ現状があり、今後多大な財政負担が見込まれる中で、全町のそして多角的な問題として議論する場という位置づけで開催されており、町の考え方として、その結論を簡単に反故にできないと考える。

注釈(※1)

【倉石温泉運営事業検討委員会】

施設・設備の老朽化や、それに伴う財政負担の増加などの問題を抱える倉石温泉運営事業について、今後の事業のあり方について検討するために、町長によって設置された委員会。

委員の構成は、議会議員3名のほか、町内全域から自治会の代表者や各団体の代表者、合計16名。

3回の委員会が開催され、その成果が報告書として令和2年12月25日に町長へ手渡された。

質問②

倉石温泉の一部が土砂災害警戒区域(※2)に指定されている。

営業を再開するに当たりのような措置が必要か。

答 大久保副町長

利用者の安全確保が一番重要である。関係機関等と協議し、必要に応じて土砂災害に対する措置を講じなければならないと考える。

注釈(※2)

【土砂災害警戒区域】

土砂災害防止法に基づき、青森県が計画的に基礎調査を実施し、危険箇所を指定している。

「このへ防災マップ」には、町内全域の土砂災害が想定される箇所が明示されている。



このへ防災マップ



愛用者を中心に営業再開が望まれている倉石温泉

質問③

報告書には、倉石温泉を再開・運営するための試算(※3)が示されているが、それらは町財政を圧迫する懸念がある。今後の運営をどのように考えるか。

答 若宮町長

次世代へつなぐ維持可能なまちづくりを考えた場合、本委員会の報告内容は尊重されるべきと認

識している。

今後、継続して運営していくためには、相当の財政負担があることや、小中学校、簡易水道、農業集落排水はじめ、各公共施設の長寿命化対策問題を含め、長・中期的な財政計画の中で検討する必要がある、慎重に判断しなければならない。

注釈(※3)

【報告書の試算(一部抜粋)】

- ・建築物や給排水設備を含めた大規模改修工事
- ・1億966万6千円
- ・湧水量減少に伴う温泉井戸改修工事(ケーシング管挿入)
- ・1546万6千円
- ・湧水量減少に伴う温泉掘削工事(新たに1300メートル掘削した場合)
- ・1億3349万6千円

大久保 和 夫 議員

生年月日:昭和39年3月29日(57歳)

担当委員会:民生常任委員会(副委員長)

広報常任委員会

当選回数:2回

●議員インタビュー

町民の皆様には議会議員を身近に感じてもらうことを目的に、毎号1人ずつ議会議員のインタビューを掲載しております。

今回は民生常任委員会の副委員長を務める「大久保和夫」議員へのインタビューです。

(インタビュー…)

広報常任委員長川崎七洋



Q 本日はよろしくお願
いします。

A 大久保和夫 議員
よろしくお願
いします。

Q 大久保議員は農業
にとっても強いという
イメージがあります。
お仕事も農業関係と
お伺いしております
が?

に営業をかけて独自
の販売ルートを持つ
こともあるそうです
が?

A 大久保和夫 議員
そうですね。どうやっ
て営業して収入につなげ
るかが農家さんの抱える
悩みであると思いますし、
そのお手伝いになればと
思っています。

A 大久保和夫 議員

八戸中央青果株さんを
はじめとする農業関係の
団体に、コンサルタント
アドバイザーとして協
力させていただいていま
す。農家の皆様が育てた
野菜や果物に付加価値を
付けて、国内だけでなく
海外にも広く発信する
という仕事をしています。

Q 農家の皆様の収入を
支える大事なお仕事
ですね。最近は何
人の農家さんでも首都圏

特に今はコロナ禍で農
産物全体の消費量が落ち
ており、収益が下がって
いる農家さんが多い中、
逆に収益を上げている農
家さんもいます。過酷な
状況であっても、その
時々に合わせて攻め方を
変えている農家さんが
収益を上げているのだと
思います。
私たちもどんどん攻め
の一手を打って、この状
況を打破しようと頑張っ
ています。

の農家さんでも首都圏

議員インタビュー

Q この地方で一番必要とされているお仕事のように感じます。

A 大久保和夫議員

五戸町は農産物の宝庫ですし、品質もとても良いので、地域の農家の皆様にはずっと農業を続けてもらいたいのですが、そのためには収入が増えなければ難しいと思います。

ですから、農産物をでさるだけ高く買いたいと思っただけなのですが、今は海外の動きに影響されて値段が乱高下しているのです、我々も難しい状況に置かれています。八戸中央青果(株)さんをはじめ、農家の皆様の協力を得て頑張りたいと思っっています。

Q 農家の皆様の所得向上は地域再生の要になりますからね。地域再生といえば、夢の森ハイランドに

企業誘致したのも大久保議員でしたね。

A 大久保和夫議員

付加価値を付けるという作戦の一環で、りんごの加工等を行う企業に入っていただきました。企業誘致というよりは、(株)倉石地域振興公社の業務引継先として、一般企業にお声掛けしたという程度です。企業誘致とは違いますね(笑)。

Q それでも実際にそのことがきっかけで企業が入っていますから、とても大きな実績だと思えます。また、夢の森ハイランドの敷地内で農作物も育てていらっしやるとお聞きしましたか？

A 大久保和夫議員

シャインマスカットのことでですね。ちょうどいい温室が敷地内にあり

ましたので、ブランディングを進めているシャインマスカットの試験ほ場にしていただきました。

最近では、農産物でもブランド戦略を立てて営業していく流れにあるので、五戸町もそういう方向に力を入れるべきだと感じています。

Q 五戸町の課題がそこにあるとお考えなのでしょうか？

やはり地域の経済力は大事ですからね。地域を後世までつなげるために一番必要なのは人口です。田舎には仕事がない、田舎では稼げないと思われるので、若者がどんどん離れていってしまっており、地方でも仕事があつて、ちゃんと稼げるんだということを情報発信していかなければなりません。そのため

に我々が頑張らなければならぬと思っっています。

A 大久保和夫議員

Q やはり経済の良いところに人は集まりますからね。

もう成人していますが、私も子を持つ親ですからいつかは孫と暮らしたいなあと思ったりします。きっと皆さんもそうだと思います。そんな誰もが心の中で思っているようなささやかな願いくらいは叶えてあげられる世の中を作りたいですね。

Q 素敵なお考えだと思います。そのために今後やっていきたいことなどお聞きしてもよろしいでしょうか？



夢の森ハイランド敷地内にあるシャインマスカット試験ほ場

Q 今まで積み重ねてやってきたことをさらに発展させたいですね。

五戸町の特産品をブランド化して、国内外の需要に応えるように販路を拡大していきたいです。五戸町にはそれだけの力があると信じているので、他の町村ができないことをどんどん実現させてみたいですね。皆さんで経済を良くしていきたいでしょう。

Q ありがとうございます。今後のご活躍を期待しています。

(了)



夢の森ハイランド

ハラスメント防止研修

令和3年1月25日、五戸町役場において五戸町職員及び五戸町議会議員を対象に、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策がとられた上で、ハラスメント防止研修が開催された。五戸町議会議員からは9人が参加した。

研修の目的と内容

令和2年6月1日から職場におけるパワーハラスメント対策が義務化され、セクシャルハラスメント等の防止対策が強化されたことに伴い、パワーハラスメントやセクシャルハラスメント等の理解を深めるとともに、ハラスメントへの対処法などを学んだ。



講師

株式会社インソース
赤澤 徳 俊 氏



編集後記

「この雪が解けるときが本当に来るのだろうか？」今冬は厳しい寒さと連日の降雪により積雪が増加し、毎朝、カーテンを開ける度に絶望感を味わいました。

ところが、2月以降は目立った降雪がなく、平年を上回るスピードで春が訪れました。この時期は空気が乾燥し、火災に注意が必要です。平成17年5月4日に扇田地区で発生した山林火災は、90ヘクタール以上を焼失する大規模なものでした。

3月の最後の日曜日、消防団長の指示のもと、私の所属する分団も野焼きのパトロールに出動しました。火災等の脅威から地域を守っている消防団の仲間たちには心から敬意を表します。

諸事情で消防団員の確保が厳しさを増す中、特色ある施策を打ち出し奮闘する自治体が散見されます。我々五戸町議会も消防団員の処遇改善などにより、組織を持続的に維持できるよう議論を重ねてまいります。

委員 鈴木 隆也

議会を傍聴してみませんか

6月定例会は6月10日開会予定です。
詳しくは議会事務局まで
TEL 62-2111 (代表)
日程が決まり次第「五戸ちゃんねる」
五戸町ホームページでもお知らせします。

次回の議会だよりは、令和3年7月発行予定です。

発行責任者
議長 三浦 專治郎
令和3年4月23日発行

委員 長	川崎 七洋
副委員長	豊田 孝夫
委員 和	田智也
委員 柏	田匡智
委員 鈴木	隆也
委員 大久保	和夫

広報常任委員会